

草加にじいろ保育園 園の自己評価

① 法人理念

社会福祉法人わかば会は子どもの最善の利益を尊重しその保護者の就労と地域の子育て支援を目的として経営を行い地域の福祉を積極的に推進する

② 令和3年度草加にじいろ保育園の保育方針

- 1 安全に配慮し、愛情を持って子どもに接し、全ての子どもに等しく行き届いた保育を保証していくように努める
- 2 明るく元気のよい挨拶や温かい言葉がけを大切にし、周りの人や物に対する気持ちを育む
- 3 季節を感じられるような環境を整え、遊びや行事など様々な経験を通して豊かな感性を育む
- 4 子どもの次なる発見への意欲を引き出す言葉がけを心掛け、自ら考え、物事に主体的に取り組む力を育む
- 5 職員は研修に積極的に参加し、一人一人の保育の質の向上を図る

③ 令和3年度目指す子ども像（園目標）

- 1 礼儀正しくけじめのある子
- 2 仲間と共に育ちあう心豊かな子
- 3 目標にむかってがんばる子

④ 令和3年度求める子どもの姿

健康な心と体	保育所の生活の中で、充実感を持って自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しを持って行動し、自ら健康で安全な生活を作り出すようになる
自立心	身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならないことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信を持って行動するようになる
協調性	友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感を持ってやり遂げるようになる
道徳性・規範意識の芽生え	友達と様々な体験を重ねる中で、して良いことや悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感したりし、相手の立場になって行動するようになる また決まりを守る必要性が分かり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いをつけながら、決まりを作ったり、守ったりするようになる

<p>社会性との 関わり</p>	<p>家族を大切にしようとする気持ちを持つと共に、地域の身近な人と触れ合う中で、自分が役に立つ喜びを感じ地域に親しみを持つようになる 保育所内外の様々な環境に関わる中で、遊びに必要な情報を取り入れ、情報に基づき判断したり、情報を伝え合ったり、活用したりするなど情報を役立てながら活動するようになると共に、公共の施設を大切に利用するなどして、社会との繋がりを意識するようになる</p>
<p>思考力の 芽生え</p>	<p>身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気づいたりし、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむようになる また友達の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気づき、自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えもより良いものにするようになる</p>
<p>生命の尊重 自然との 関わり</p>	<p>自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探求心を持って考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まると共に、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる また身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気づき、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にすることを覚えるようになる</p>
<p>量・図形・ 文字等数</p>	<p>遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、自らの必要感に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚を持つようになる</p>
<p>言葉による 伝え合い</p>	<p>保育士等や友達と心を通わせる中で絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しむようになる</p>
<p>豊かな感性と 表現</p>	<p>心動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気づき、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲を持つようになる</p>

⑤ 評価

自己評価の基準			
A よくできた			
B ほぼできている			
C 次年度以降努力課題			
領域	評価の観点	自己評価	
運営体制	1 能率的、合理的な運営組織になっているか	A	
	2 職務内容が明確で協働できる体制か	A	
	3 職員の配置は適材適所か	A	
	4 行事の分担や担当の振り分けは適切か	A	
	5 各種会議を適切かつ効率的に進めているか	A	
	6 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し協力や助言をし、施設の運営に関わっているか	A	
	7 打ち合わせ回数、時間、内容は適切か	A	
	8 保育方針の周知・反映はできているか	A	
	9 開かれた園の運営をしているか (地域への保育公開)	B	・園庭開放や子育て講座等は新型コロナウイルス感染症の流行状況により中止した時もあったが、動画を制作し配信することができた
保育目標	1 保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか	A	
	2 目標は各施設や地域の特色を生かしているか	A	
	3 目標は社会の要請や保護者の願いを反映しているか	A	
	4 目標は前年度の反省を生かしているか	B	・毎年反省に基づく振り返りを行い、次年度に生かせるようにしていく
	5 目標は全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか	A	

保育計画	1 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか	A	
	2 保育所保育指針に基づく援助、支援を適切に行っているか	A	
	3 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか	A	
	4 素材・用具を適切に活用しているか	A	
	5 評価結果を基に保育の改善に努めているか	A	
年齢別・クラス経営・日々の保育	1 年齢別・クラス目標は保育目標や重点目標に基づいて設定できているか	A	
	2 年齢別・クラス目標は乳幼児の実態に即して設定しているか	A	
	3 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか	A	
	4 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか	A	
	5 意義や趣旨を理解した保育を行っているか	B	・保育のねらいを明確にし、PDCAサイクルを活用し、実践していく
	6 質の高い保育の提供意欲はあるか	A	
	7 指導の工夫改善をしているか	A	
	8 気になる子への対応は適切か	A	
	9 特色ある教育活動を取り入れているか	A	
	10 1日の流れは現行で良いか	A	
	11 伸び伸びと遊べる環境提供ができてきているか	A	
	12 道徳性の芽生えができるような取り組みをしているか	A	
	13 年齢に合わせた生活習慣指導ができてきているか	A	
	14 身近な人への親しみが持てるような取り組みをしているか	A	

年齢別・クラス経営・日々の保育	15 幼児の人間関係は円滑か	A	
	16 子どもと保護者と保育者の信頼関係は築けているか	A	
	17 園児は園への適応をしているか	A	
	18 年齢に応じた食育活動を行っているか	A	
	19 主体的に学びが芽生えるような取り組みを行っているか	A	
	20 体力が向上するような活動をしているか	A	
	21 振り返りや発達の記録を適切に集積できているか	A	
行事	1 行事の種類や実施回数は適切か	A	
	2 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか	A	
	3 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動をしているか	A	
	4 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか	A	
	5 保護者の願いや意見を取り入れているか	A	
	6 行事への取り組みは全職員共通理解のもと進めているか	A	
保健・安全指導	1 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか	A	
	2 避難訓練・交通安全指導を計画に基づいて適切に実施しているか	A	
	3 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成の為家庭への啓発を行っているか	A	
	4 乳幼児の安全確保の為家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか	A	
	5 年齢に合わせた健康・安全指導を行っているか	A	

研究・研修	1 研修・研究主題は保育目標の具現化につながるものであるか	A	
	2 園内研修の計画・運営は適切か	A	
	3 研修・研究の成果を日常の保育に活かし、乳幼児の育ちに反映させているか	A	
	4 研修・研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか	A	
	5 外部の各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか	A	
	6 外部の各種研究会、研修会、講習会での内容を園内で共有しているか	A	
情報	1 乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか	A	
	2 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか	A	
	3 各表簿は適切な時間・方法で作成・処理しているか	A	
施設・設備	1 施設・設備の安全点検を画的に行っているか	A	
	2 遊具・用具等を活用しやすいよう整理・保管しているか	A	
	3 不審者等への対策を機関と連携し行っているか	A	
	4 衛生環境の整備に配慮しているか	B	・用務員を中心として環境整備に取り組んだ 次年度は日々の環境整備に一人一人の職員が取り組めるよう時間設定を行う
	5 掲示板、掲示場所等を適切且つ効果的に活用しているか	A	
出納経理	1 各種会計を適切且つ適正に処理しているか	A	
保護者	1 保護者との連携は取れているか	A	
	2 親支援となる活動を行っているか	A	

施設間交流・連携	1 他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に沿ったものか	A	
	2 他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わう事ができるような配慮や援助・支援を行っているか	B	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策の為、他園や他校との交流を持つことが難しかった ・次年度は対策をしながら交流を図れる場を作れるよう計画、実施をしていく
	3 指導者同士が打ち合わせや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか	A	
	4 参観や保育・授業等に参加するなどして幼稚園・小学校の教育を理解しているか	A	
	5 日常的に情報を交換し、交流活動に生かしているか	A	
	6 幼保小中と連携した事業を行い、子ども教育連携推進に取り組んでいるか	A	
家庭・地域社会との連携	1 参観時間を制限せず、保護者以外にも対象にした参観日等を設定しているか	C	<ul style="list-style-type: none"> ・保育公開日は設定したが、まん延防止等重点措置発令の為中止とした ・次年度は設定日を増やし、実施できるようにしていく
	2 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か	A	
	3(乳)幼児の興味関心に基づいて地域社会・その他施設と交流しているか	A	
	4 地域の行事に積極的に参加し地域の文化や生活に触れているか	B	<ul style="list-style-type: none"> ・例年通りの地域交流は図れなかったが、散歩等で地域の方と会ったときに挨拶をするなど交流に努めた
子育て支援の推進	1 地域の子育て支援の場として園庭や交流事業を実施しているか	A	
	2 地域に住む子ども同士あるいは親子と一緒に遊ぶことができるような場の設定をしているか	B	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策を徹底した上で、園庭解放等交流が持てる場を持つことができた

子育て支援の推進	3 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか	C	<ul style="list-style-type: none"> ・「家庭教育アドバイザー」を利用し、学習講座を計画したが、まん延防止等重点措置の発令の為に中止とした ・次年度も計画をし、保護者の学習の機会を設けていく
	4 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか	A	
	5 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り保護者にとって必要な情報を提供しているか	A	
情報の発信	1 園の公開に努めているか（自己評価の公表等）	A	
	2 保育園のお便り・ホームページ等で施設の情報を発信しているか	A	
	3 行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか	A	
園内・外部評価	1 保育の評価を行っているか	A	
	2 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか	C	<ul style="list-style-type: none"> ・予算等も含め検討していく
	3 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか	A	

⑥ 総合評価と次年度への課題

- ・研修では外部講師を招いたり、オンライン研修を活用したりしたことで、より多くの職員が計画的に参加することができた
- ・研修の時間を土曜日や祝日に設けることで多くの職員が参加することができた
- ・業務検討委員会を活用し、運営委員会と業務検討委員会が連携を図ることで、運営がスムーズに行えるようになった
- ・新型コロナウイルス感染症の感染が広がる中でも保育が万全となるよう環境整備及び消毒の仕方などを工夫し、他施設と連携を取りながら十分配慮することができた
- ・新型コロナウイルス感染症対策の為に、地域との連携や子ども教育連携、公益的事業の取り組みを中止としたものもあったが、対策を行いながら実施できた活動もあった
次年度も新型コロナウイルス感染症対策を施しながら、地域での活動や子ども教育連携の計画、実施をしていく
- ・ホームページの動画配信を利用し、子育てに関する情報を提供することができた
- ・新任への研修として法人全体では計画的に進めることができた
園内でも新任及び2年目の職員に対して計画的に研修を行い職員の資質向上に努めることができた